


ながさきミヤノイ  
森きよつへい



稲佐山公園の動物ひろばの在り方

**問** 廃止の方向性が平成16年に示された稲佐山公園の動物ひろばは、統廃合など施設の在り方の再検討が必要であると考えますが、見解を伺いたい。

**答** 施設廃止に向けて、動物の引き取り手を探したり、不妊手術を行うなど、動物の数を増やさない取組を進めてきたが、皆減には至っておらず、施設を継続している状況である。

稲佐山公園は、施設の老朽化により各施設の存廃を検討する時期にきており、動物ひろばについては市内に猿や鹿の専門的な獣医師がいないなどの課題があることから廃止に向けて、再度、動物の数が増えていかない方法を検討するとともに、動物が生存している間は、健康で過ごせる環境づくりや、餌やり体験など少しでも触れ合える場を提供できるように継続的に取り組んでいく。



▲稲佐山公園 動物ひろば



公明党  
久八寸志



「ながさきBLUEエコノミー」による旧高砂園の活用

**問** 長崎大学を中心に、県内外の大学や民間企業、行政などで構成される「ながさきBLUEエコノミー」が高島地区に水産研究所を開設したことで地元では未利用施設となっている旧高砂園を研究拠点等として活用することが期待されているが、考えを伺いたい。

**答** 養殖DXや海洋技術によって地域社会を活気づけることを目的に設置された「ながさきBLUEエコノミー」は、高島地区においてブリの種苗生産技術の開発・研究を始動しており、旧高砂園については、令和6年2月に長崎大学から研修・教育施設及び宿泊施設として活用したい旨の申入れがあつている。この要望は、本市の水産施策への貢献及び高島地区の活性化にもつながるため、大学と協議し検討を行った上でしっかり対応していきたい。



▲旧高砂園



自民創生  
柿田正



長崎市周辺地域の振興

**問** 持続可能な社会となるためには、周辺地区の活性化も重要と考えますが、今後の振興についての考えを伺いたい。

**答** これまで地域特性に応じ迅速に対応できるよう各地域に地域センターや総合事務所を設けるなど行政サービス維持向上に努めるとともに、地域の主体性等を尊重した地域コミュニティ連絡協議会の設立や運営への支援を行うなど地域の活性化等に取り組んできた。

また、都心部と各周辺地区を公共交通や道路、情報などのネットワークで結ぶネットワーク型コンパクトシティの実現に向けても取組を進めている。今後は都心部にぎわいを市全体に波及させるため、長崎まちづくりのブランドデザインを策定することとしており、併せて、各地域が持つ魅力ある資源の磨き上げを進めることで、人やモノの往来を活性化し、各地域が元気になるよう取り組んでいく。



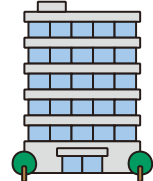

自民創生  
山下巖記



市有財産の利活用

**問** これまでの取組や今後の方針を伺いたい。

**答** 行政目的での活用がなくなった建物や土地については、資産情報の集約から売却手法の決定までの流れを示した市有財産利活用フローに基づき活用を図っており、令和元年度のフローの策定前よりも効率的な売却を図っている。また、令和2年度からは、未利用の市有財産の売却を推進するため、売却可能性調査及び売却物件の周知広報等の業務について、不動産の取引に精通する民間事業者に委託している。



令和6年度は、玉園町の旧市長公舎や馬町別館を建物付きで売却する予定であり、一方で、長崎港松が枝地区2バース化事業等の事業代替地として継続保有している土地については、貸付けによる自主財源の確保を行っている。今後もフローに基づき、未利用資産の積極的な利活用に努めていきたい。

概要

一般質問

常任委員会の主な審査内容

議決結果、請願、人事等

特別委員会からの報告

各委員会の構成等

議会の動き